

マグネシウム合金冷間絞り品

月産数量：研究開発

部品の特徴

マグネシウム合金は、温間加工でプレスすることが一般的な材料である。また、プレス機械は、サーボプレスを使用するケースが多くなっている。

特に、加熱をするための設備が必要な事が、普及しない原因のひとつであると考えている。鉄の1/4、アルミの2/3の軽量素材の特長を生かすためにも、冷間<室温>で普通のプレスを使用しても絞り加工ができることを目標にして、マグネシウム合金用プレス金型の研究を行ってきた。写真2はマグネシウム合金専用金型による最新サンプル、写真3は軟鋼絞り用金型による最新サンプルである。

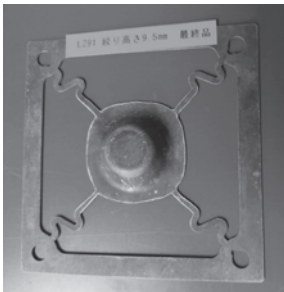


写真1
8年前にトライしたマグネシウム合金絞り品



写真3 最新サンプル（軟鋼用）

写真2
最新サンプル（マグネシウム合金専用）



被加工材について

マグネシウム合金 冷間加工用素材。図1と2にその資料を示す（日本金属㈱より提供）。

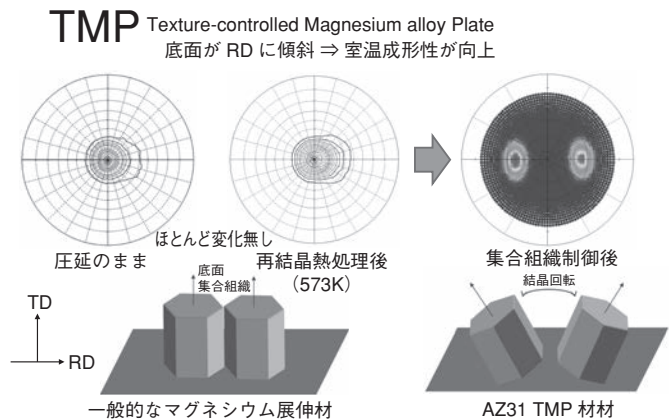


図1 TMP（集合組織制御）材